

経済法Ⅱ

2 units 2nd-year(2nd semester)

Katsuyuki Izumi · PROFESSOR / DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL STUDIES, Katsuyuki Uehara · ASSOCIATE PROFESSOR / DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL STUDIES

Target) 経済法とは一定の経済政策に関する法全体を指す。経済法Ⅱでは、様々な領域を対象とする経済法のうち、知的財産法を概説する(なお、経済法Ⅰの履修または単位取得は要件ではない)。知的財産法とは、人間の知的活動の成果であって財産的価値を有する知的財産(具体的には技術や情報、音響、画像、コンピュータ・ソフトウェア、デザイン、ブランド等)に関する法の総称である。知的財産に関する議論は、わが国における産業政策・経済政策の柱の1つとして取り上げられていること、米国が近年、強化政策を採っていること、莫大な経済的利益に直結すること、情報化・マルチメディア化・ネットワーク化の進展に大きな影響があることなどを背景とし、現在最も重要視されている分野であるといえる。授業では知的財産法の体系を順に説明するだけでなく、最近のトピックスも出来る限り取り上げたい。法律の専門的知識は必ずしも求めないが、政治・経済・社会上の動きを知るため、新聞やニュース等に対して敏感な姿勢を望む。

Outline) 知的財産法の基本的理解

Keyword) *intellectual property law, copyright, patent, trademark, economic law*

Relational Lecture) “**経済法Ⅰ**”(0.5), “**民法Ⅰ**”(0.5), “**民法Ⅱ**”(0.5)

Schedule)

1. 以下のような体系をもつ知的財産法を、16回の授業により概説する。
2. 1. 産業財産権法
3. 1) 知的創作物に関するもの… … 特許権、実用新案権、半導体の回路配置権、植物の新品種
4. に関する権利、意匠権、ノウハウ(企業秘密)
5. 2) 営業標識に関するもの… … 商標権、商号権、サービス・マーク、原産地表示
6. 2. 著作権
7. 1) 著作者の権利… … 著作財産権(複製権など)、著作者人格権
8. 2) 著作隣接権(レコード業者、放送業者、歌手・演奏家等の権利)
9. 3. その他
10. 独禁法との関係、ライセンス、国際的動向など

Evaluation Criteria) 期末試験を中心に、授業メモ(ミニレポート)、小テスト、質問の有無等を考慮して成績評価を行う。

Re-evaluation) 行なわない。

Textbook) 教科書については未定である。参考書として、著作権と特許につい

て、1点ずつ挙げておく。・吉田大輔『著作権が明解になる10章』(出版ニュース社)・竹田和彦『特許がわかる12章』(ダイヤモンド社)

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219435>

Contact)

⇒ Izumi (+81-88-656-7184, izumi@ias.tokushima-u.ac.jp) **MAIL** (Office Hour: 後期:水曜16時10分から17時10分)

⇒ Uehara (+81-88-656-7173, uehara@ias.tokushima-u.ac.jp) **MAIL**